



ギギギタ、

- 第四王女は **快樂** が好き -

オラ
さっさと歩け!!



グズグズ
するな!



おや
あれは...

牢獄から
引き渡しです
ってよ



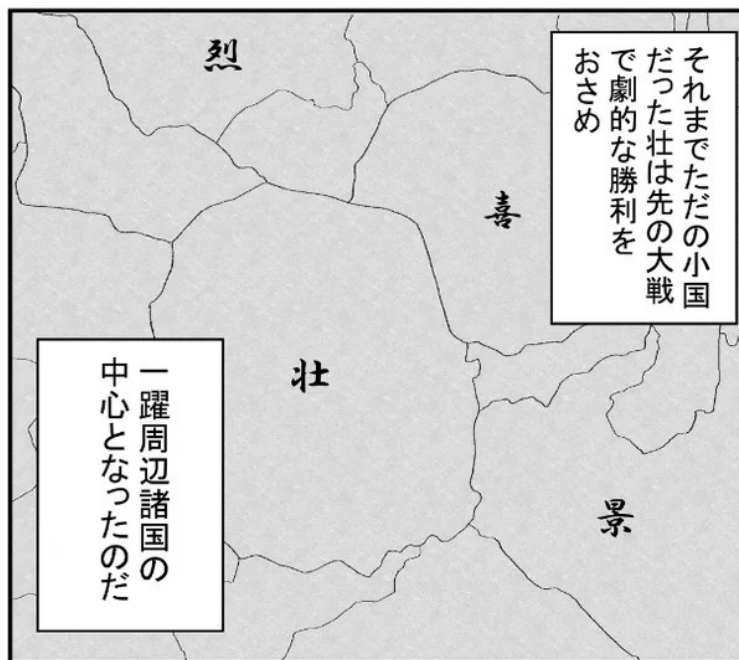
この二十有余年
南の地域は
壮国の一強であった





しかし国内は
依然として不安定
なままで

王族と民衆の間で
反乱が頻発し
内戦状態が続いて
いた



それまでただの小国
だった壮は先の大戦
で劇的な勝利を
おさめ

一躍周辺諸国の
中心となったのだ



だまれ！俺は成年兵だ
侮辱は許さんぞ

そしてセド一族は必ず
俺の仇を討つ！
首を洗って待つがいい



しかしお前も
不運だな
ガキンチョ

革命軍の中で
テメエだけ
捕まっちゃう
とはよ



お前長く苦しむのが
イヤなら知ってること
洗いざらい吐いた
方がいいぜ

しかし
あの方も
好きだよな
これで
何人目だよ



だってよ
この強情がよ！

お前は今からサシャ様に
直々に拷問されて
泣きわめくんだった
の！



うるさい
俺は仲間を
売らない！

おお怖ェ！

いいこと教えて
やるよお前
捕虜のくせに
やけに待遇が
良かっただろ？

ケガの治療に
清潔な独房
栄養のあるメシに
入浴まで……
なぜだと思う？

それはな
サシヤ様がお前を
五体満足の
健康な状態で

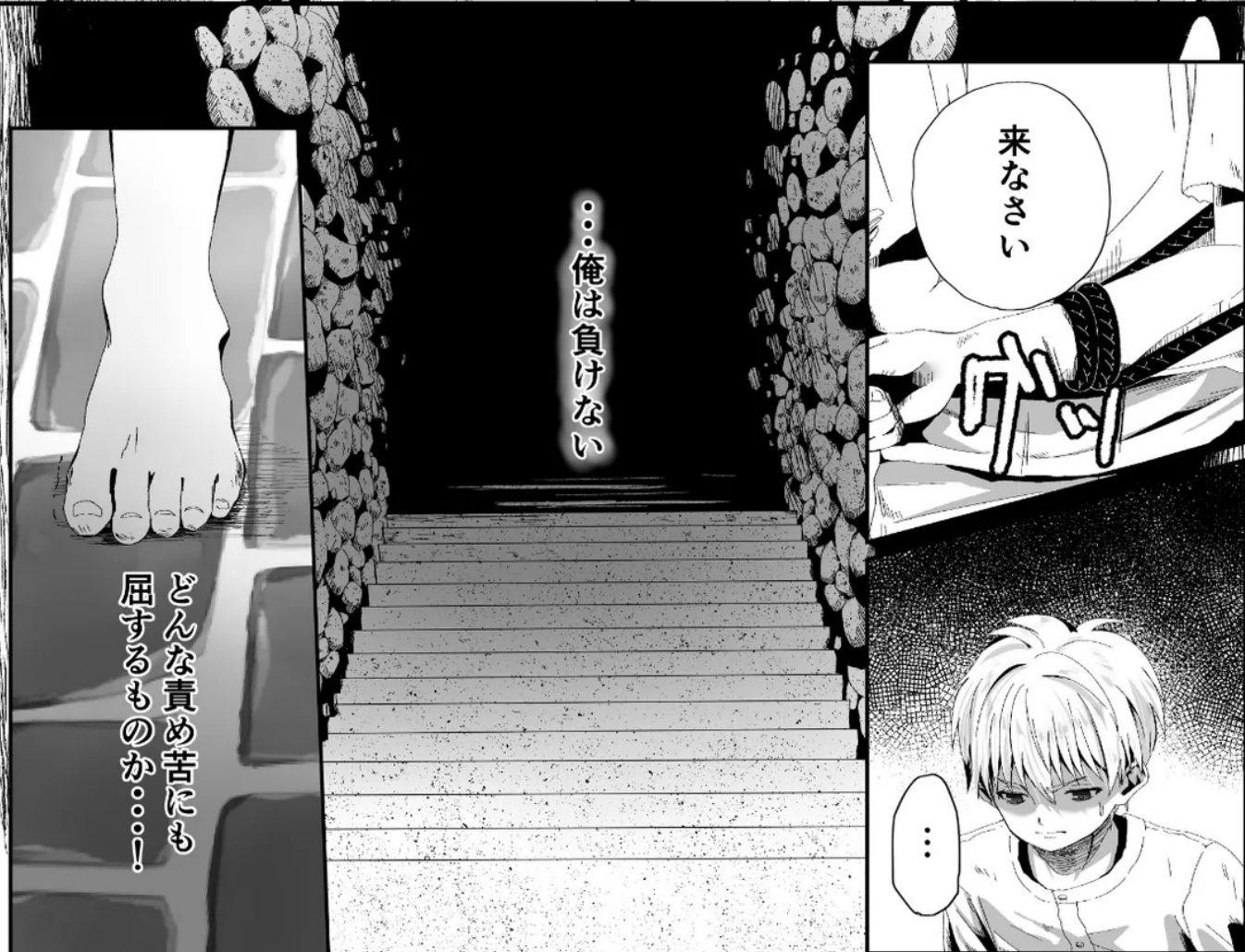
ズタズタにして
遊ぶためだよ！

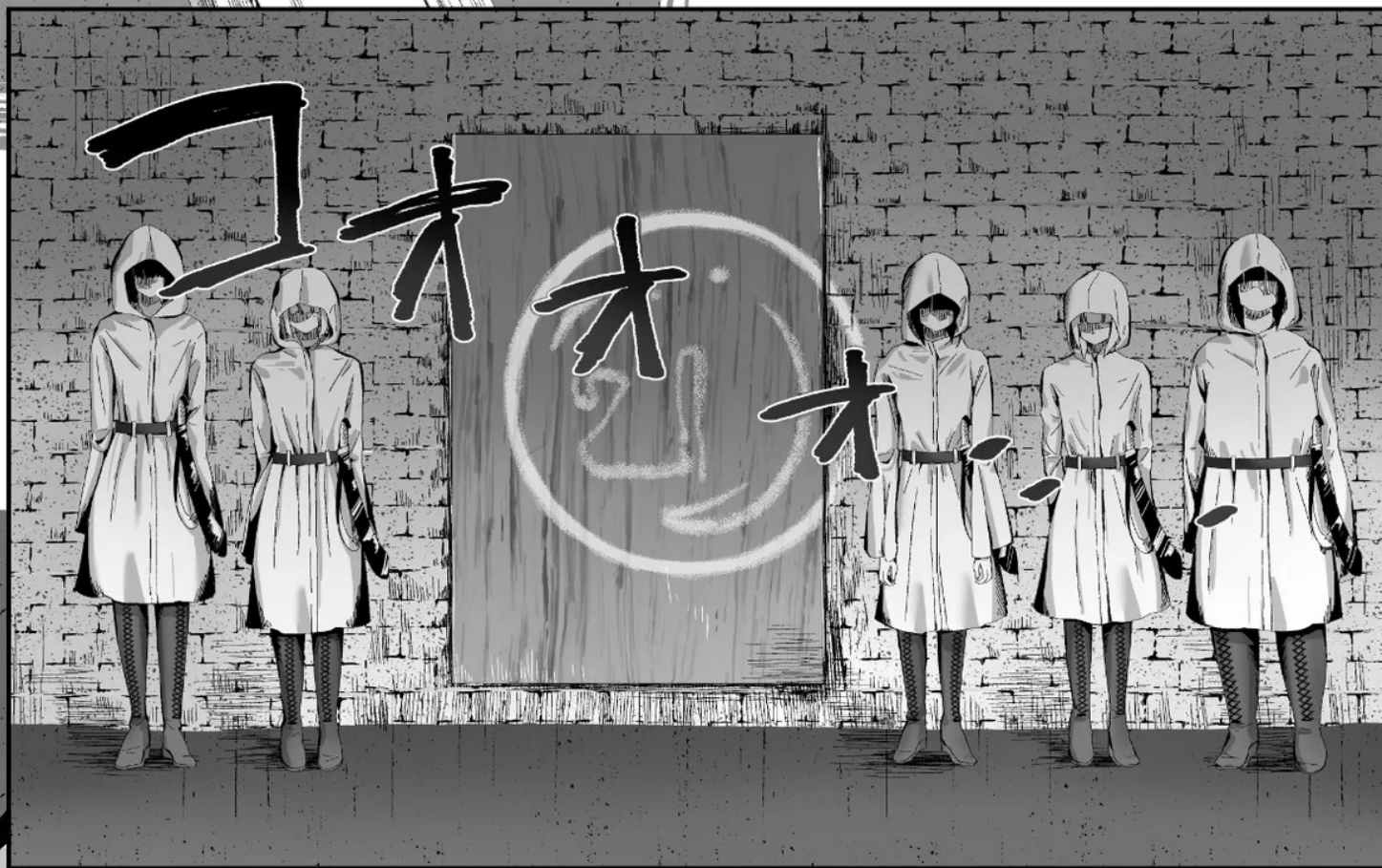
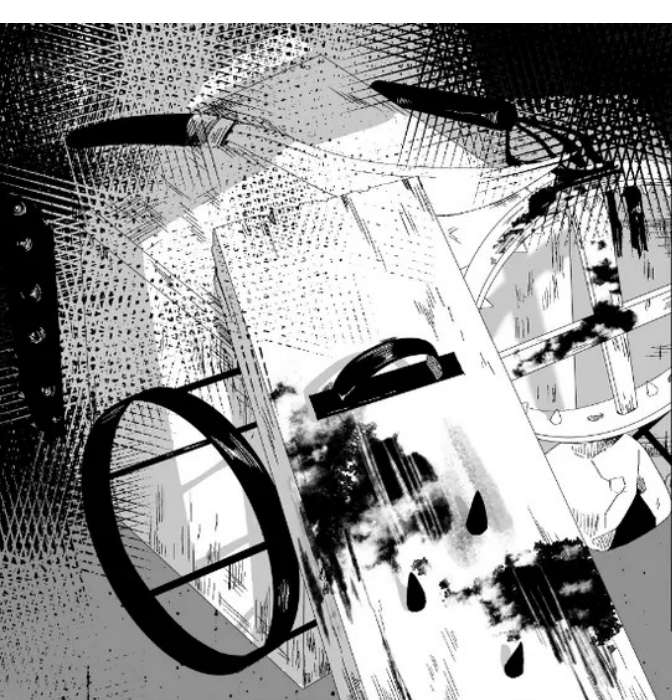
なんたって第四王女サシヤ様は
妖狐の化身といわれるお方！

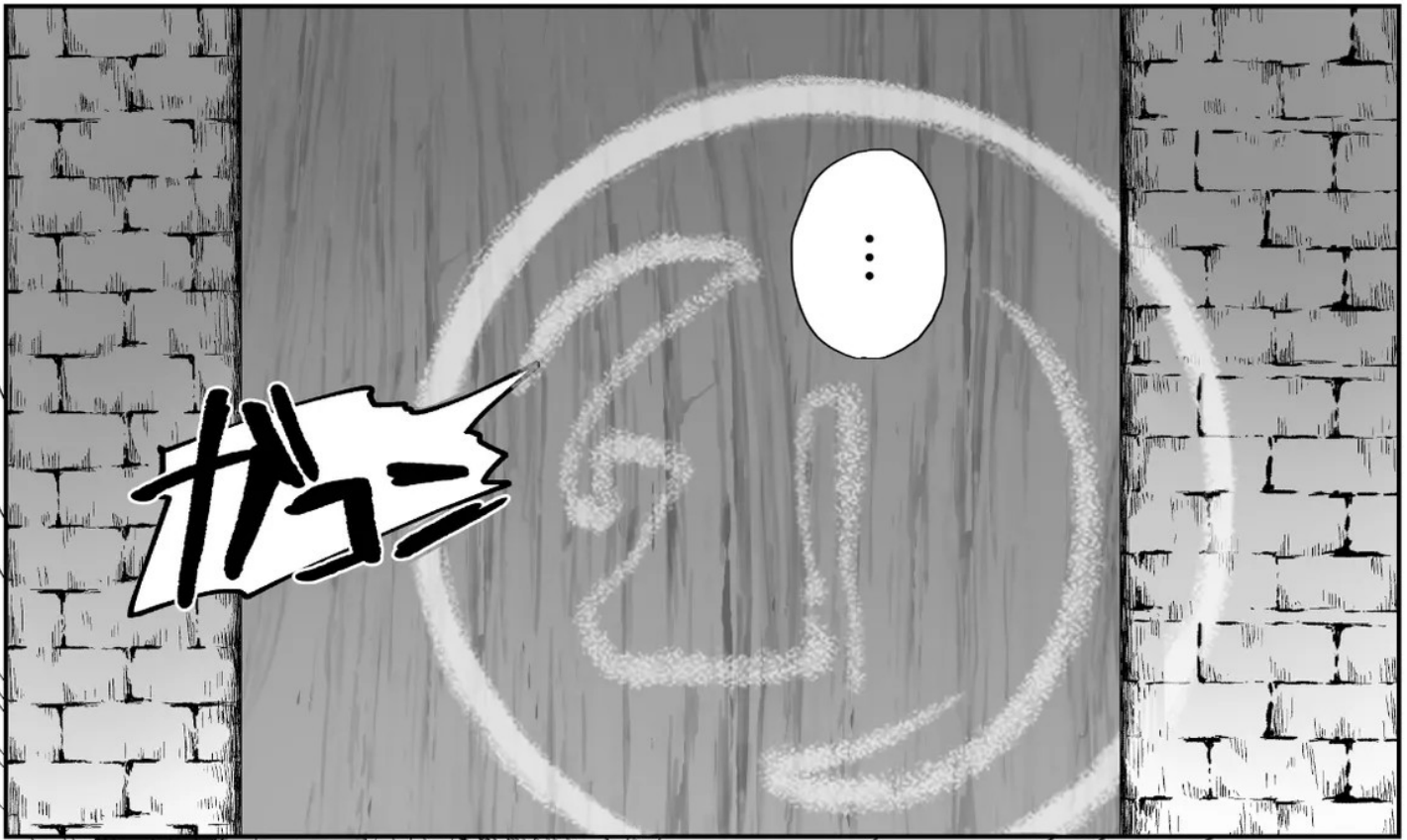
たいそう残忍な
お人柄でな
今まで何人も尋問に
かけてきたが

誰一人生きて出られた
奴アいねえ
飽きたら喰っちゃうのさ











うふふ
いらっしやい私の
新しい”お遊びさん“

早くキミと遊びたくて
楽しみに
待ってたんだよ♥



いい目だね

やりがいがありそ♥



ふーん
見たとこまだ
坊やだけど

反乱分子の
芽は
叩き潰して
おかないとね



あはっ
すごい気迫
さすがだねえ

だまれ
女ギツネめ!



…やるなら
さっさと
やれ

俺は何にも
屈しないし
答えない



拷問?
何のこと?

とぼけるな
お前が悪趣味
なのは
聞いたぞ

だが残念だな



俺をどんな
拷問にかけても
ムダだ

卑劣な王族には
屈しない
この身がどう
なってもだ





俺の亡きあととは
一族や仲間が
必ず……



命に替えても
情報は
吐かない



ジュース

キミと私が
仲良くなれる
成分配合だよ♡

なっ
何を……!!

はっ
はっ



.....
!??

で拷問って
何のこと？
確かにキミみたいな
反逆者は重罪
だけど

私痛いの
キライだから
拷問なんか
しないよお



快樂
♥

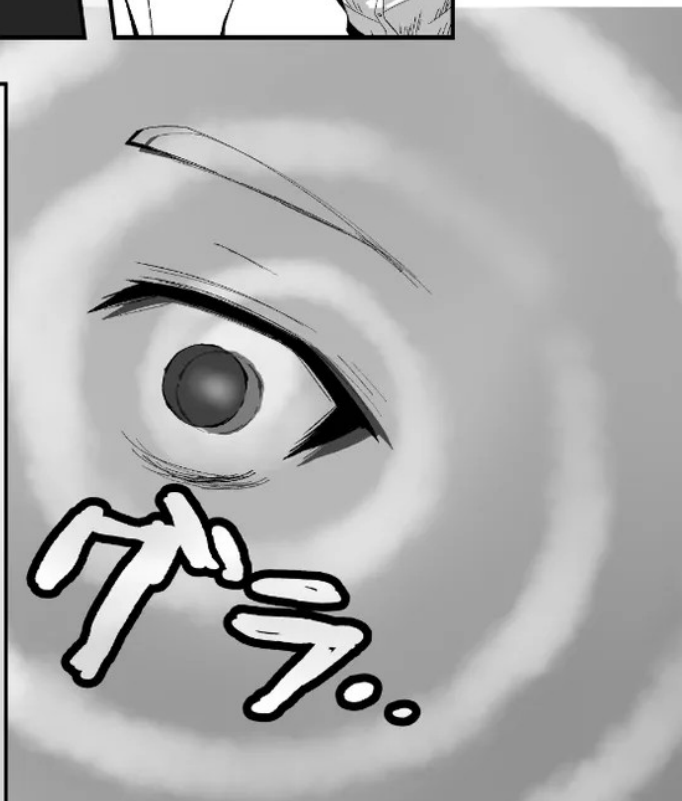
屈辱と

私が好き
なのはね



効くのが
はやいね
空腹だった？
ワスワス

う.....ん



ゲラ。



わっ
すごい汗！

ぐ……

配合しすぎ
たかなあ
まいっか



カラダ熱くなって
きたでしょ
この興奮剤
すごくない？

でもこれから
私と楽しく
遊ぶためには
絶対必要
だからね！



じゃあ今から
めちやくちやに
してあげるから

いっぱい
気持ちよく
なろうね♡



やめろっ

何をする

あはっ
恥ずかしがって
かわいい！♡





こんなの
……
いっそ

●して
くれ……

はー



何言ってるの
命を粗末にしちゃ
ダメだよ

でも体も傷だらけだし
いつも痛い思い
してるんだね



ねえキミ
だからさ
今日から私に

思いつきり
甘えても
いいんだよ♡

うっ

ビク



あれ？
耳が弱いのか
な？

ちっ
違う！



何が違う
わけ？
だんだんトロけて
きてるし

キュ

それに
ココも

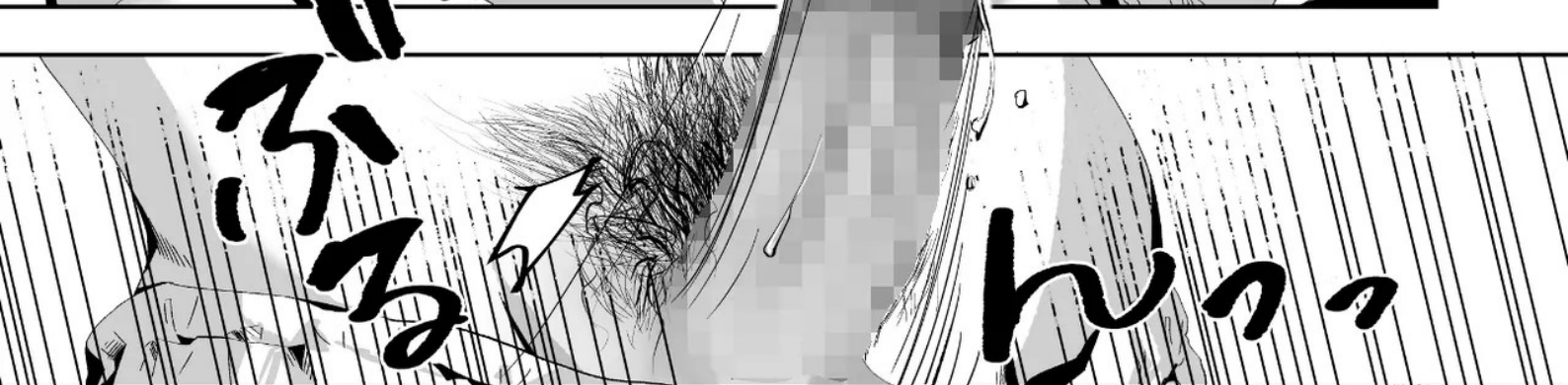


あうっ！

こんなに
なってるよ♡

びくんっ

キ









ねえほら
寝てないで

キミは私と遊ぶ
ためにここに
来たんだから
もっと

キリーニ

!



おの

キリーニ

.....
残念だけど

急用が
できたから
また今度ね

これからは毎日
可愛がつてあげるね
雑魚チ○ポくん ♡

私たちきつと
仲良しになれちゃう
と思うんだ ♡

じゃあね私の
おあそび
"嬉戯さん"

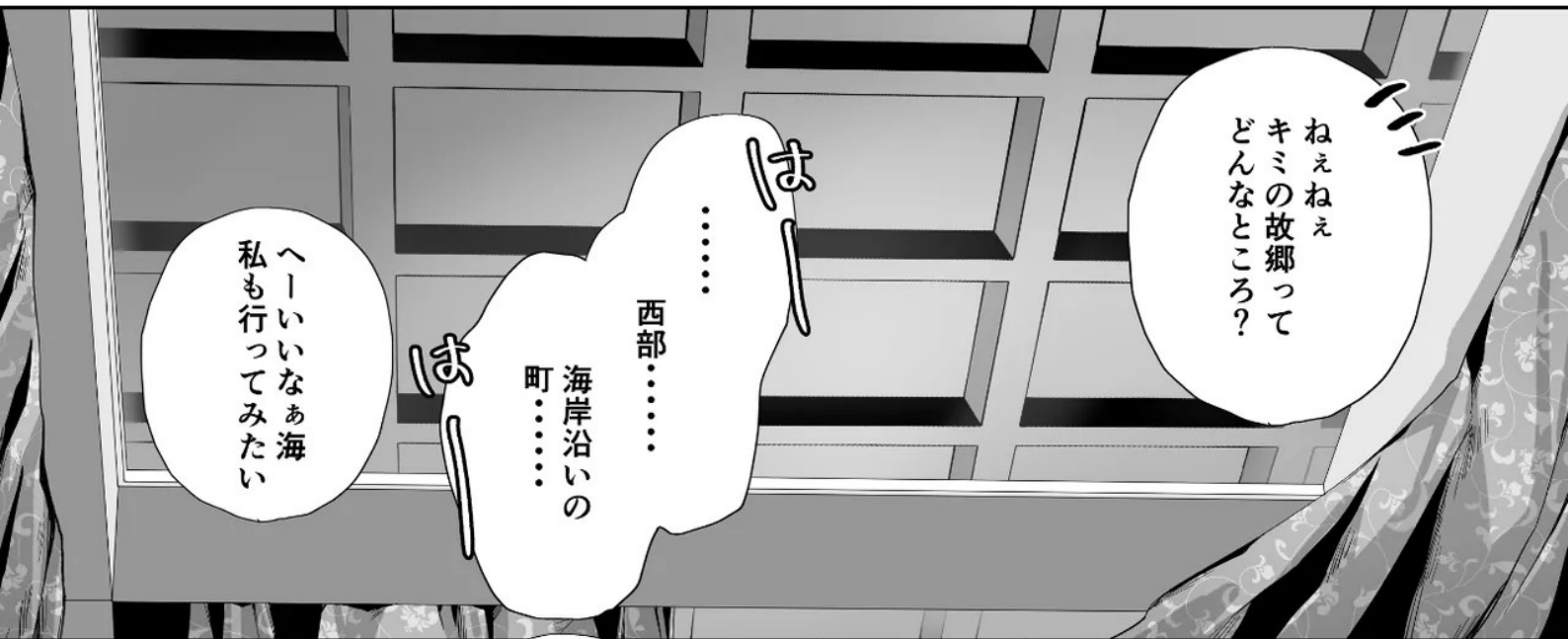
また明日 ♡

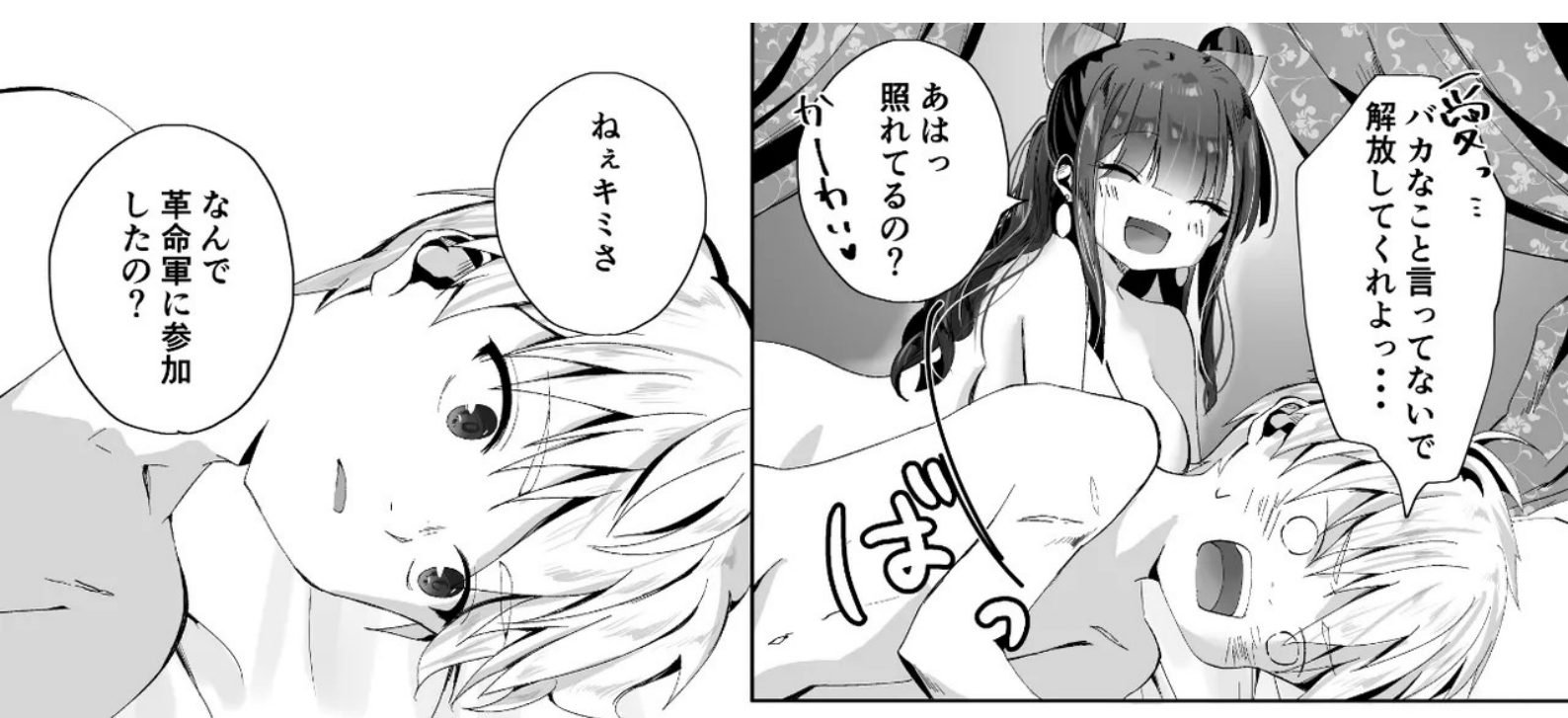
その日から

おし









お母さん
バカなこと言ってるんで
解放してくれよっ...

あはっ
照れてるの？

かーわーん

ねえキミさ

なんで
革命軍に参加
したの？



なんでって...

地区一帯を
束ねるセド一族の
息子として
当然のこと

市民の安寧のため
この国の恐怖政治を
終わらせるべく
立ち上がったんだ

.....父や
兄にならって



フフ
恐怖政治ね

父王はほんとに
ビビりだからね

?

ふーん
じゃ家柄で革命に
参加したってわけね

わぷっ

む





早く私が
飽きるといいね



それか私が飽きたらね

ここにいたければ
いてもいいけど
そんなのイヤだろうから



...

そう

だな



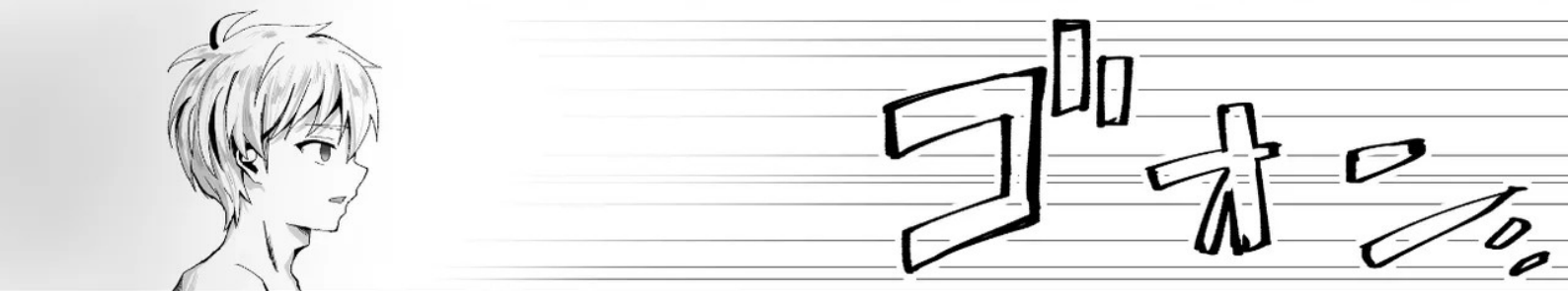
おあそび
明日は『喜戯』
なしだよ

それから



あ
そうだ







フン
呼びつけといて
妖怪扱い？

お
ずっと言っ
てますよね
私は人間だっ
て

お
監禁生活にも
ウンザリですよ

なに念のためだ

邪悪なもの
の怪を解き放
つわけには
ゆかぬからな

だから
何回言え
ばわかる
わけ？
この迷信
ジジイ！

私は人間
よいい加
減外に出
してよ！！

それはど
うかな

だまくら
かすのは
十八番だ
ろう

グ
イ

痛っ！

さあ祈れ
今宵は新月だ

その血でも
って今期の
戦に我らの
勝利を





そうですね
城に攻め入る途中で
捕虜になって
幽閉生活を……

はい
外に出たのも
百日以上ぶり
目が眩みます

はは
いや僕も同じです
二年前の革命デモで
捕まってからは
ずっと捕虜生活です

処刑を覚悟してたので
城内の農業に従事
すると言われた時は
驚きましたかね



……
たとえば

サ……
第四王女さま
と交流とか
……？



意外にも待遇が良く
脱走の機会を逃して
しまいました

たまに王室のお方と
拝謁しますが
お優しいお心遣いに
恐縮し通しです



第四王女さまって
サシャ王女ですか？
ないない！

農場を取り
仕切ってるのは
第一王太子さまと
王太子妃さま
だけです



第四王女さまといえは
昨日のご祈祷は
夜通しだったとか

隣国とも
一戦ありそうな気配
なので念入りですね

ご祈祷？

ええ
新月の夜には勝利の
ご祈願をして
くださるのですが
ご存じありませんか？

二十二年前の大戦の
勝利は
現ロス二世さまが
妖狐にお祈りして
得たものだそうです

その引き換えとして
生まれ来るお子さまの
魂を捧げており
それがサシヤ様なのです

ですからサシヤ様は
妖狐の化身とされていて
今でも勝ちに導くために

時にはそのお体に流れる
血を使って
ご祈祷なさるそうですよ

へえ……

アッ

砲弾訓練ですかね

ああ
俺も午前中
参加しました

なんと
さすがですね！

いや単に
人手不足なんだと
思います

ドッ

国の内も外も大混乱の
ようですし
捕虜なら失っても
痛手じゃない

混乱……
そうですね

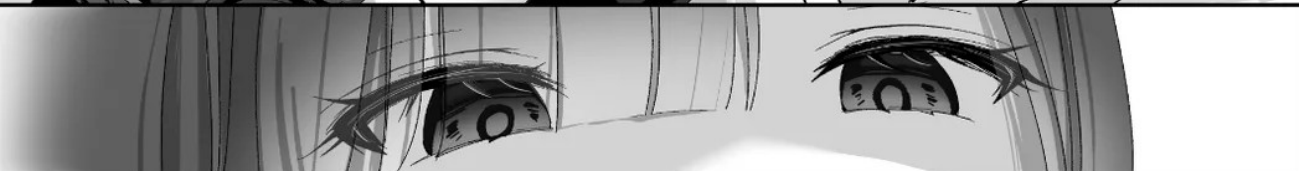
それにしても
故郷からは
我々を奪還するための
交渉役も迎えも

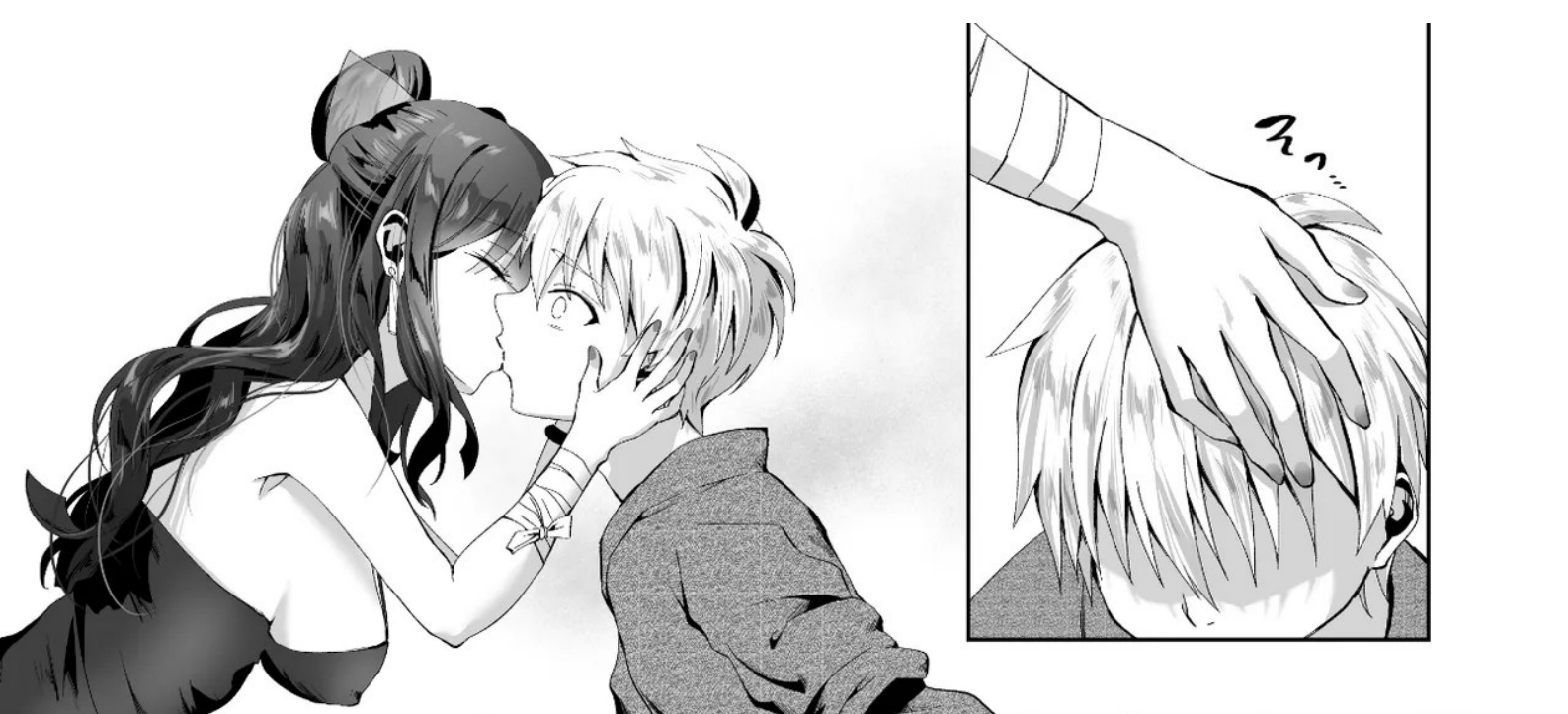
誰も来ませんね

見捨てられちゃったん
でしょうか……











ねえシたい

シたいよ……



この先ずーっと
私を護って味方して
言うこときくんだよ？

もちろんだよ
何でもきくよ！



んー？

いたんだろ
俺みたいなの

ねえ今まで
何人いた？



なあに今度は
昂っちゃって

だっていつも
触るばかりで
全然挿れさせて
くれないじゃないか



はあ

はあ

きゅっ

わからない
わからないけど

俺……

しょうが
ないなあ

もう……



きゅっ

さあね
忘れちゃった

ていうかキミ一体
どうしちゃったの
捕虜はイヤなんじゃ
なかったの

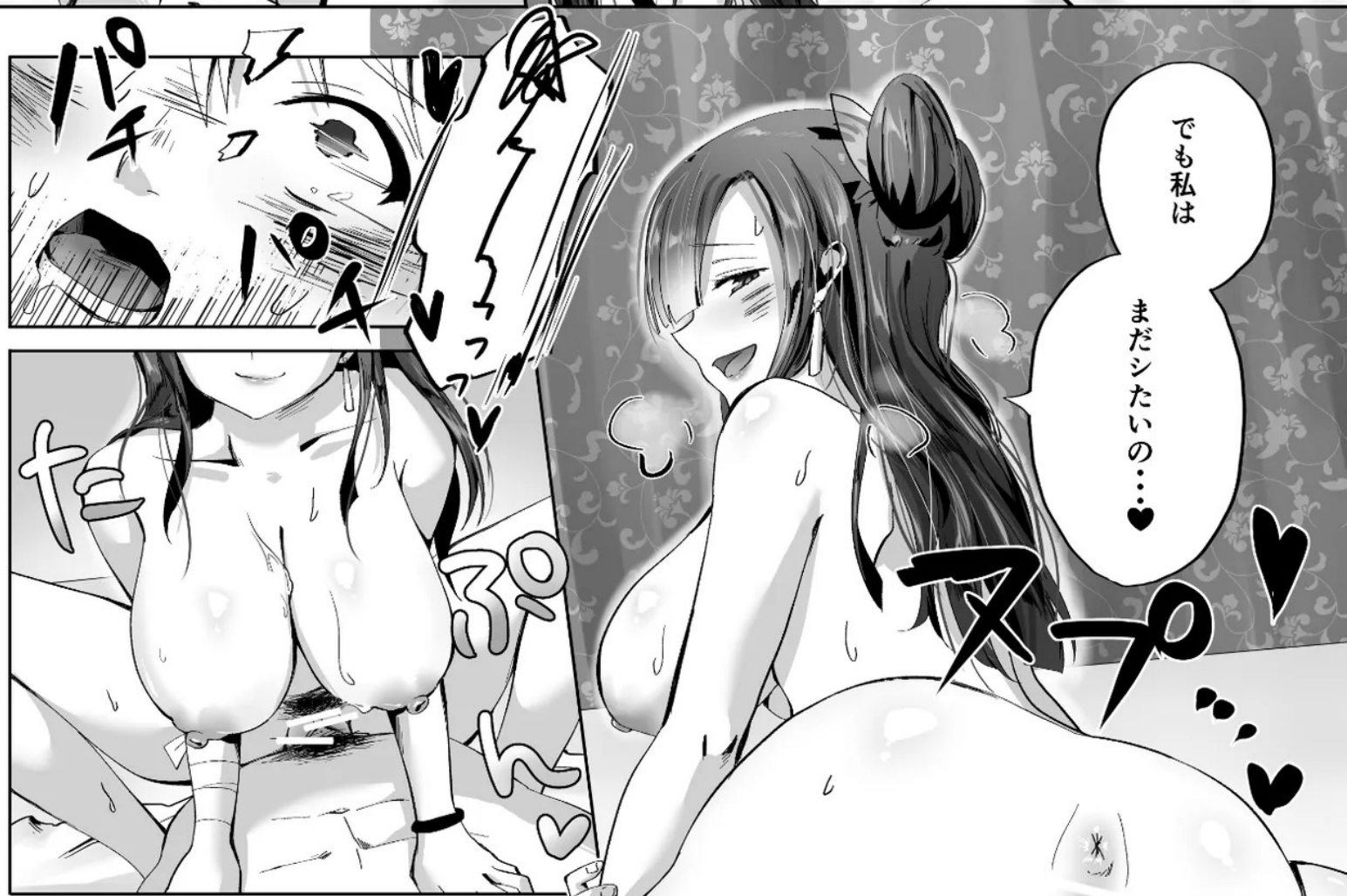
あ





















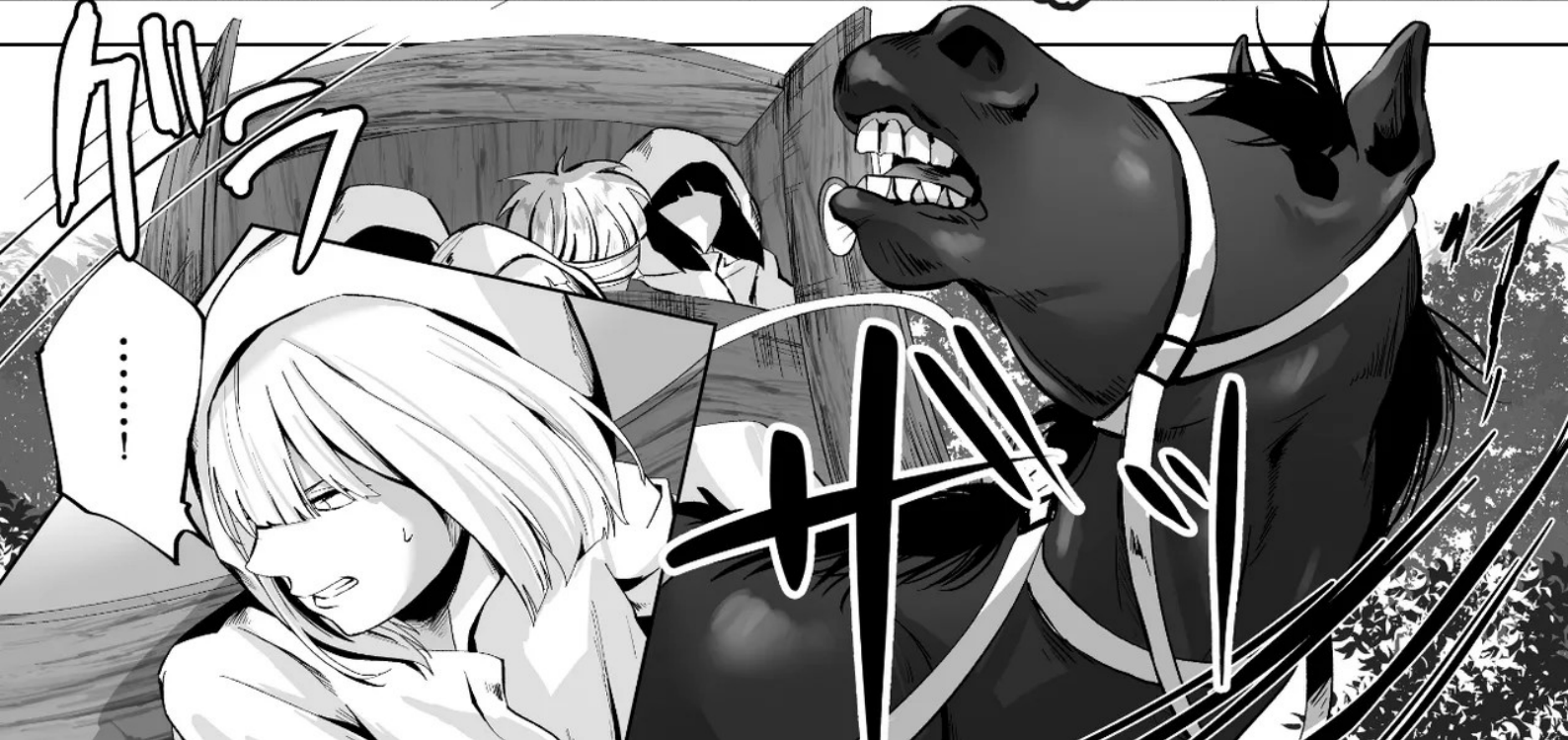
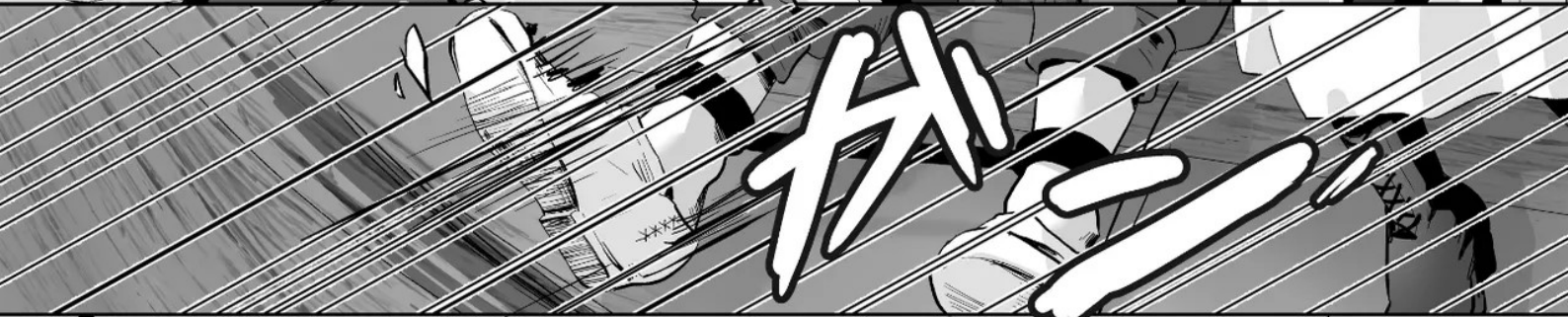
なんで急に…

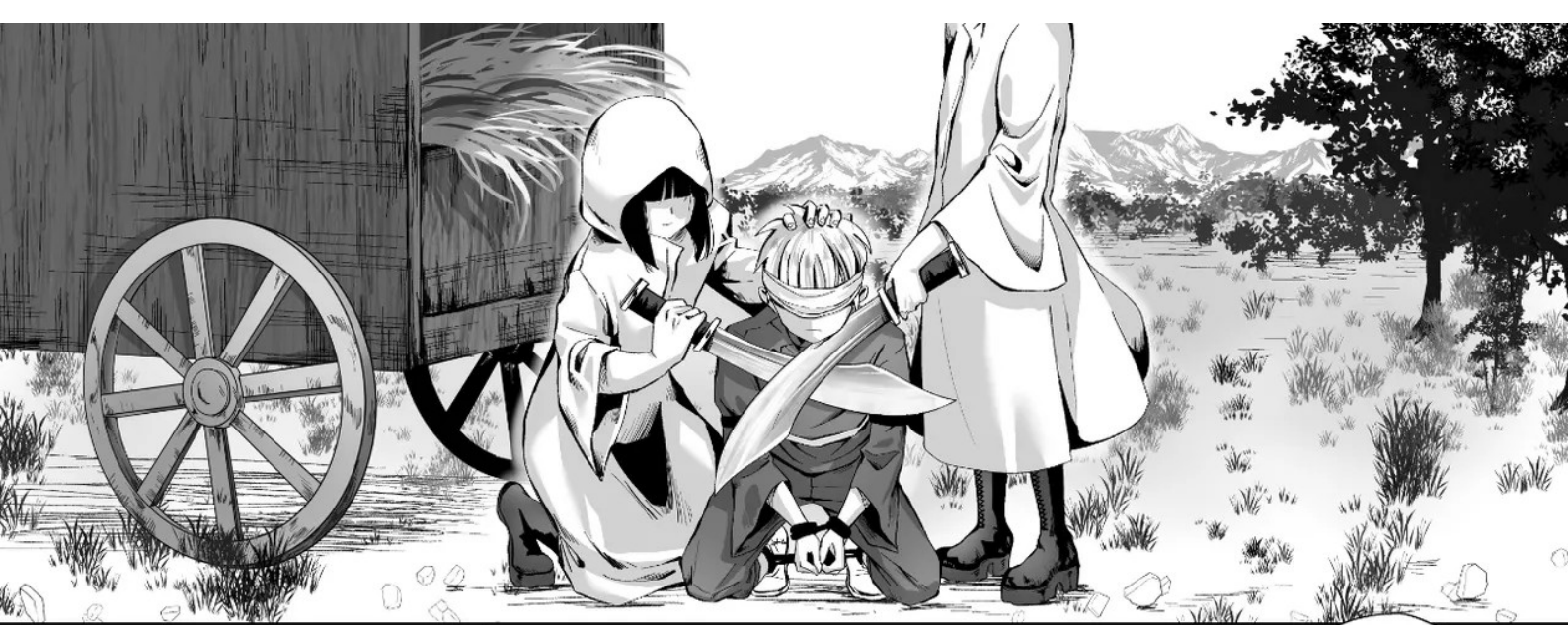
それが私が
飽きたらね

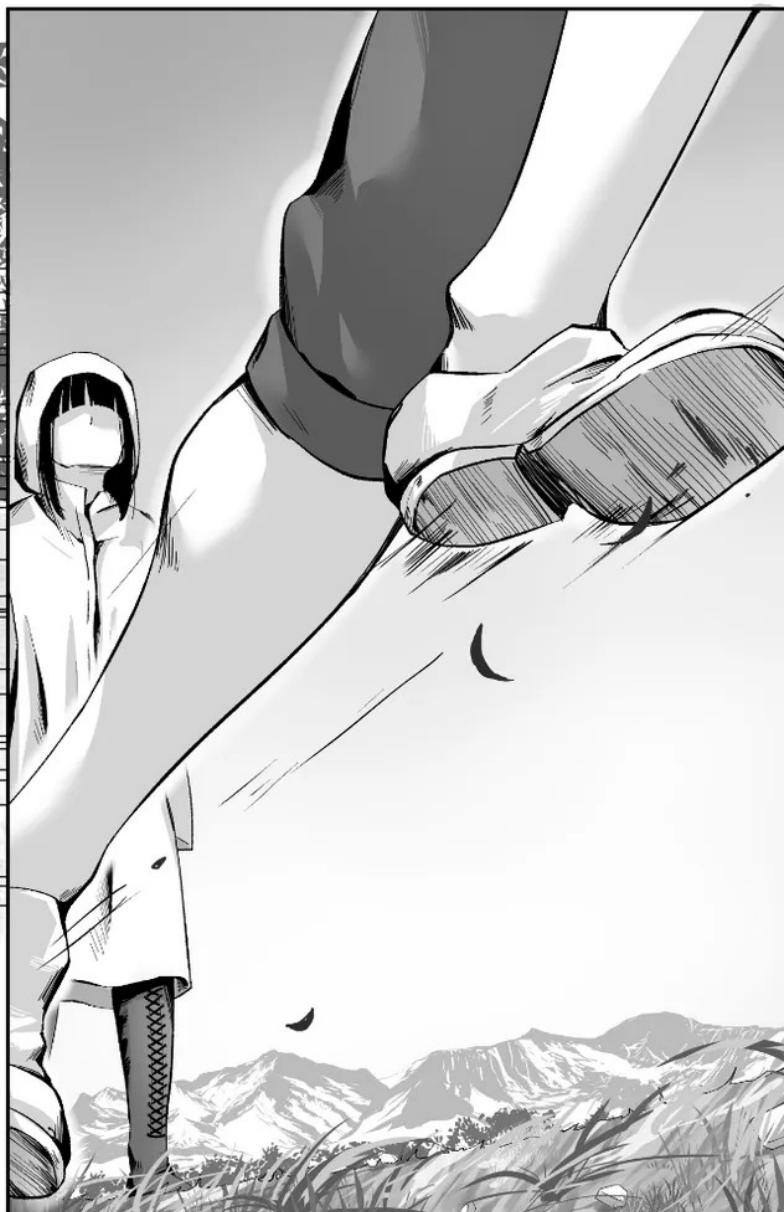


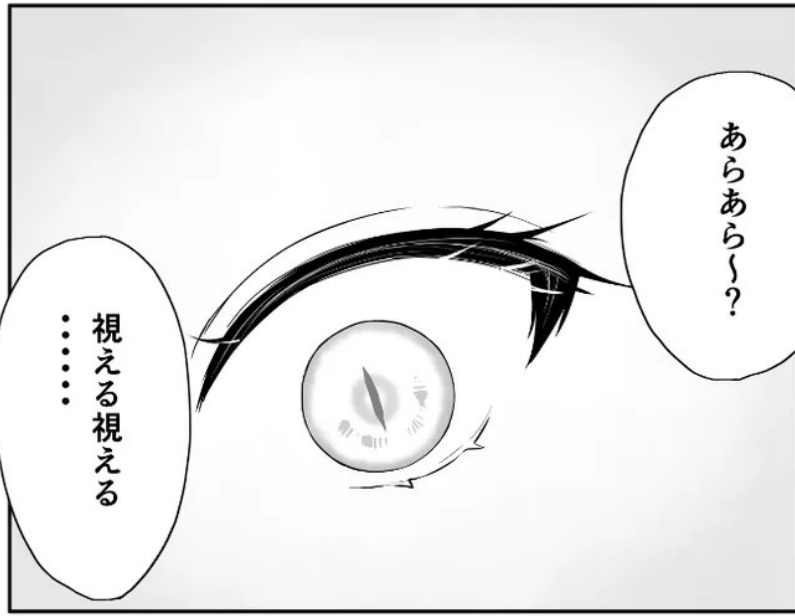
恐れ入りますが
武器はお返しいたし
かねますので













ほんつと愚かな
人間……♡



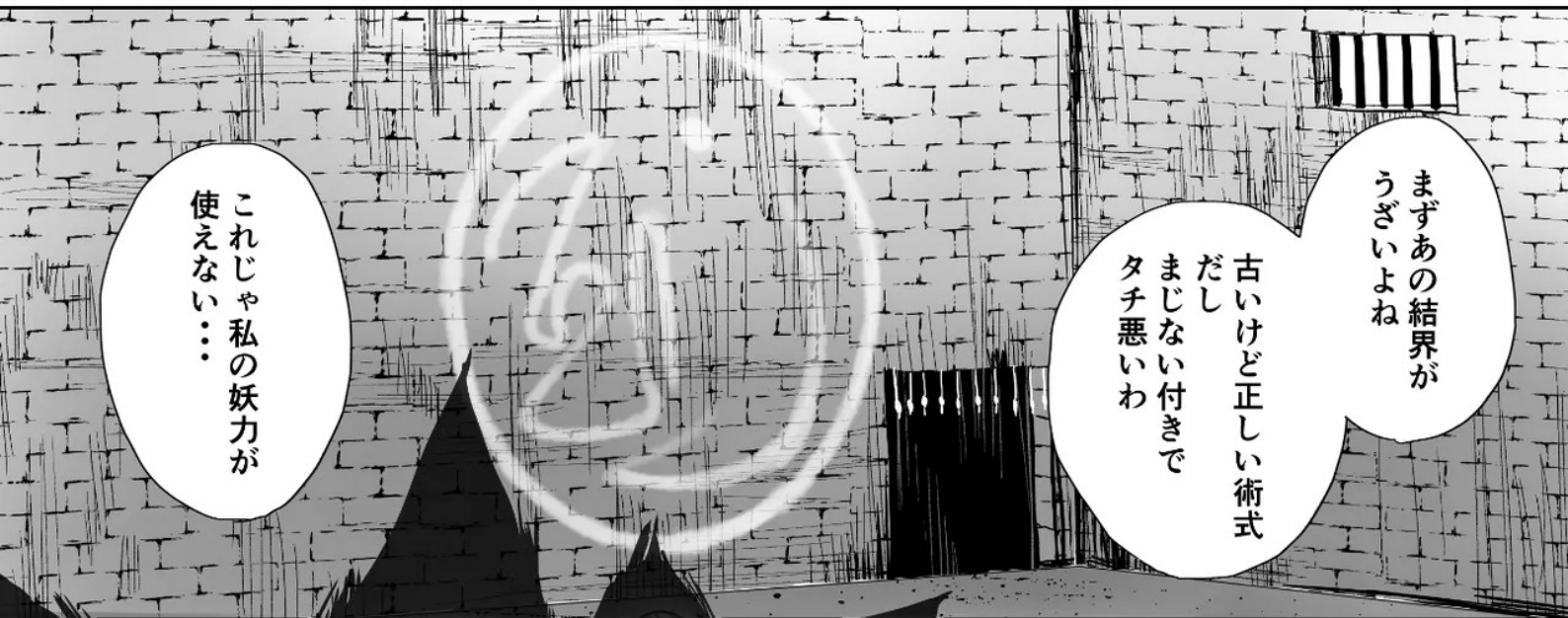
あのコどこまで
使えるかな

とりあえず
この部屋は突破
したいんだけど



あっはは
すっかり忠実になって
可愛いなあ

下僕化計画
大成功じゃん！



まずあの結界が
うざいよね

古いけど正しい術式
だし
まじない付きで
タチ悪いわ

これじゃ私の妖力が
使えない...



あのジジイ
ほんっと許せない
私の力使うだけ
使っというて

この恨みも屈辱も
必ず晴らして
やろうぞ



まあ今は
あのコのお手並み拝見と
いきましようか

結界外に出られたら
飼ってあげてもいいな

その時に生きてたらだけど



ここで待ってるからね

戦士クン
♥





このたびは数ある作品の中からお購入いただき
ありがとうございました。
感謝申し上げます。

拙いところが多々ございまして申し訳ありません。

もっと描きたかった設定もあって、たとえば
サシャの護衛の白フードたちはもともと
石だったんだよとか
最後サシャが入れられた塔の部屋が粗末だったのは
父王を罵倒したからなんだよとか
本当にいろいろあるのですが
描き切れなかったのでここで少しだけ…。

これからも精進してまいります。
ありがとうございました。

2025.5 千ノ桃工房/千桃

